

12期 アクティブシニアをめざす

日 時 : 2024年9月26日 校外学習

場 所 : 造幣局 工場見学 と 造幣博物館

象印のまほうびん記念館

2学期の校外学習は造幣局の中にある造幣博物館と象印のまほうびん記念館に行きました。

大阪造幣局は大川に沿って建っていて大阪の春の風物詩「桜の通り抜け」で有名です。

南門から北門にむかう560メートルの間に約140種類の桜がぎっしり植えられていて素晴らしい風景です

(桜の時期じゃなくて残念でした)

大阪の造幣局は、明治4年(1871年)創業以来150年以上貨幣製造などを主な業務とする独立行政法人です。

貨幣のほか勲章、褒章、金属工芸品の製造もおこなっています。

係りの方の案内で貨幣の製造工程を見学しました。

広い工場の中にはほとんど人がいなくて窓越しに見学しました。

機械だけが黙々と貨幣を製造している工場でした。

大騒音がするそうで従業員は耳栓が必要とのことでした。

いま、製造している貨幣は500円、100円、50円、10円、5円と記念貨幣。

昭和23年に発行された5円からが使える貨幣だそうです、昔のお金(1銭など)は古銭といわれるものだそうです。

計数され袋詰めされた貨幣が積まれていました。

造幣博物館には創業当時の大時計が今も時を刻んでいました。

貨幣の歴史や記念貨幣・外国の貨幣を見ることができました。





造幣博物館にて



その後、大川沿いのレストランでランチタイム。
午後から象印のまほうびん記念館へと移動。
係りの方から魔法瓶の歴史などを聴きながら展示物を見ました。
昭和の時代にはどの家庭にもあった花柄のホーローの魔法瓶や鍋など
懐かしく拝見しました。暑い夏の1日でしたが有意義な校外学習でした。
広報担当：A・M

まほうびん記念館にて

